

グリーン経済シンポジウム in 富山 パネルディスカッション

渡辺美和子氏：

- ・ 富山県地域生活協同組合 COOP は、組合員は約 59,000 人、総事業高は 76 億円（2005 年度）出資金は 20 億円。
- ・ 基本理念「私たちは、一人一人が力を合わせより豊かな暮らしの創造と平和な社会を目指します。」
- ・ 「組合員の環境学習を進めます。」「暮らしを見直し、身近な環境の活動に取り組みます。」「環境にやさしい商品の利用、普及を進めます。」「ゴミ減量のリサイクルに努めます。」「環境にやさしい事業所づくりを努めます。」「環境にやさしい商品の開発、企画を進めます」「日本の農業環境を守り、食料自給率を上げる取組みを進めます」
- ・ 生ゴミの減量。生ごみ堆肥化による土作りと有機野菜につなげる。
- ・ チームマイナス 6%の取組みにも参加。

若林啓介氏：

- ・ 若林商店（紙の卸売業、従業員の 30 人、創業が明治 6 年（1833 年））
- ・ 経済同友会の環境問題委員会は第 7 次環境問題委員会「環境の危機回避に向けた持続可能な社会の構築を目指して 迫るポイントオブノーリターンその前に 」
- ・ 基本理念：「住みたい町、富山の実現」「環境と経済が調和した持続可能な社会作り」
- ・ 行動宣言：「地球温暖化の防止」、「循環型社会の形成」、「持続可能な社会の街づくり」、「富山の自然との共生」
- ・ 2005 年 6 月から会社の屋上でサツマイモを水耕栽培。屋上緑化の一つの方法。

須河弘美氏：

- ・ 環境の課題、例えば循環型社会とか脱温暖化社会ということに、一般の住民の方の興味をひきつけるか？
- ・ 「人の気持ちのスイッチを入れるにはどうしたらいいだろう？」
- ・ 「クールビズ」とちょっとカッコいい言い方。しかも実際お洒落なシャツが店頭に並ぶように。
- ・ 県庁と富山環境財団が共催で「エコライフスタイル推進大会」でクールビズファッションショーを開催。
- ・ 昔の軽装や省エネスーツは、かっこ悪い。今のクールビズはかっこいい。楽しいか楽しくないか。もっと言い換えれば、人の気持ちに沿っているか、沿っていないか。
- ・ 3 つの E を提唱。Ecology, Economy, **Enjoyment**

「食べる」ことから

- ・ COOP 富山では、自立した、安心・安全の食品（商品）づくりを目指している。消費者のエゴだけでなく、生産者のアイディアもいれ、食べ残しを活用。
- ・ 生協の役割：社会を支える消費者が変わる姿勢が大切。
- ・ 四季の旬のものを食べる喜び。旬のものを買うと安く、うまい。
- ・ 富山県の農業に関する情報。第 1 次産業就業者割合 3.93%（全国 35 位）、兼業農家割合 92.1%（全国 2 位）、米収穫量 537kg/m²（全国 11 位）野菜・果物自給率（最下位）。
- ・ 兼業が多いことは働き方の多様性としてはいいが、自給率には難もあるジレンマ。
- ・ もったいないの精神。生産者の顔が見えるところ（ばあちゃんの作った野菜など）。

「働く」ことから

- ・ インテック株式会社 事業所内に託児施設（2007 年 3 月オープン、880 m²、2 億 5000 万円、50 名定員、60 名応募）
- ・ 22：00 開園しているが、それは子どもにとってよいのか？
- ・ 富山は、待機児童がゼロ。しかし、需給のアンバランスはある。
- ・ 県庁では、ボランティア休暇が年 5 日ある。重油流出事故の時以外では、活用されていない。
- ・ 育児休暇は、妻の産前産後中に 5 日間半強制的にとる仕組みがある。
- ・ 中小企業では、経済的には大変かもしれないが、社会に対する責任として育児休暇や託児所対策はやるべき。
- ・ サマータイムの導入は、何もエネルギー消費を減らすためだけではなく、働き方の見直しの観点から重要。

「買う」ことから

- ・ 県庁は、率先してグリーン購入活動を行っている。しかし、低価格利用の観点との兼ね合いもある。
- ・ My Bag 運動。
- ・ 最後は、人の誇り、地域の誇り。最終的には、経済とも関わっている。
- ・ 長谷村や伊勢の事例。

「総括」より

- ・ 富山県は水が豊富で、それを土壤に稲作の兼業農家が発展。
- ・ 富山県は全国で 10 番目以内の県民所得、全国 1 番の土地面積、自動車保有率も全国トップクラス。夫婦共稼ぎで、兼業農家が進むということは、子どもに本当に幸せをもたらしたのか。
- ・ 残飯が日本全国で 20%程度といわれていますので、せめてこれを何割か減らせないか。
- ・ 平成 17 年度に環境教育推進方針をとり定めるために動いているが、4 つの視点を取り入れていきたい。